

施策「学校教育の充実」の「事前確認事項等への回答」に関する再確認事項とその所管回答

1p～2p にかけて外部指導者活用事業 3)

外部指導者の活用を希望する要望する人材を確保するよう要望があるようですが、要望されている人材とは？また、要望に対しどの程度応えられていますか。

(学校教育課)

- ・学校によって、学生SAT、学力向上サポーター、部活動外部指導者など要望が様々です。
- ・要望に対しては、毎年外部指導者の応募者等の中で人材を派遣しており、概ね要望に応えることができています。

5p 子どもへの暴力防止プログラム事業

事業の効果から今後も継続していくとしていますが、中学生プログラムの実施は考えていないのですか。

仕事などの関係からかおとなプログラムに参加する保護者の人数が児童参加者数の13.5%程度となっています。地域で子育てをすると考えた場合、大人プログラムへの地域の参加が考えられないか。(北海道CAPをすすめる会に要望はできないか。)

(学校教育課)

- ・時期は未定ですが、中学校での実施や**大人プログラム検討**の前に、**まずは**小学校高学年における実施について検討したいと考えております。

7p 小学校スキー学習支援事業

就学援助対象者ではない保護者負担の軽減として考えられていたと思うが、現在は保護者の希望もないか。

(学校教育課)

- ・特に希望は寄せられておりません。

7p 特別支援教育運営支援事業 1)

発達検査について保護者の理解が得られない場合がありますか？得られなかった場合の対応は。

(教育支援センター)

- ・時期やタイミングによっては、ご理解がいただけないこともごくまれにはありますが、お子さんの様子をより細かく見ることにより、効果的な指導方法を考えていきたい、とお話すると大方の保護者が理解して下さいます。
- ・理解が得られなかった場合は、相談を継続していくなかで、時間をかけながら、その必要性をご理解いただけるように、機会を伺ってお話しています。

8p 中段 特別支援教育運営支援事業

1 年生で生活のリズムの安定を図り、2 年生の担任に十分な引き継ぎがされるようになってい
ます。

さらに支援が必要な場合の学校での配慮とは？

(教育支援センター)

- ・校内のコーディネーターが中心となり、お子さんの実態を詳細に把握しながら、効果的な指導方法を担任、学年の先生、担任外の先生等とチームを組んで話し合い、支援をするようにしています。
- ・教育支援センターも巡回相談等で、お子さんの様子を観察して指導内容、方法等についてアドバイスしています。

8p 上段 特別支援教育運営支援事業

きめ細やかな対応はすばらしいと思います。今後は、進級後の支援員の配置も検討する必要があると思います。

(教育支援センター)

- ・子どもの発達段階を考えますと、年齢があがるにつれ、集団の指示に自分で判断して活動できる力が必要になります。もちろんそれが苦手なのが、支援が必要なお子さんですので、集団の中で担任が個別的な配慮をしています。
- ・より個別的な配慮が必要な場合は、学びの場の検討も必要になります。
- ・支援員の配置につきましては、子ども一人一人のニーズを把握して、必要な支援の質と量を検討していきたいと考えております。

9p 中段 特別支援教育運営支援事業

支援員の研修や今後の研修機会の充実をあげられていますが、各学校に配置されている支援員の交流の場はありますか？

(教育支援センター)

- ・年 2 回程度実施している全体研修では、講義を聞くだけでなく、ワークショップ等を取り入れて、日常なかなか交流できない他校の支援員と主体的に話し合い、自分のもつ課題解決の場としています。

10p 不登校児童生徒支援事業

ここ数年中学校の長期欠席児童数が 50 人前後で推移しています。学校に席をおいていることで何らかの対応はできますが、卒業後の状況把握は困難で引きこもりになるケースなども少なくないと思いますが、卒業後について何か対応はされていますか？

(教育支援センター)

- ・この春にふらっとくらぶを経験した通級生は、それぞれに高校進学を果たしましたが、数名の生徒が通信制の高校であり自宅学習が多くなることから、そのまま高校へ通わなくなる心配がありました。
- ・このことから生活リズムの安定が図れるまで、ふらっとくらぶ通級の卒業生におきましては、

今年度より試行的に水曜日の 15 時以降と金曜日の午前中は、指導員との交流や学習のために、開放することといたしております。

- ・不登校生徒の中学校卒業後の支援については課題であると考えており、ふらっとくらの今年度の取り組みの実態も含め、こども相談センターのひきこもり担当とも協議を重ねながら、対応について検討していきたいと考えております。